

※農業担い手課受付	※農林事務所受付	※農業委員会受付

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

平成〇〇年〇月〇日

福島県知事

記

1 申請者の氏名、住所及び職業

当事者の別	氏名	印	職業	現住所
譲受人 (被設定人)	会津 一郎	○	会社員	会津若松市 町 番地
譲渡人 (設定人)	会津 太郎	○	農業兼会社員	会津若松市 町 番地

【代理人】【行政書士の氏名、行政書士の印、職業＝行政書士、事務所の所在地を記載すること。】

3 転用計画

(1) 転用の目的	(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細	次男が結婚し、分家住宅が必要なため				
分家住宅						
(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	平成 年 月 許可の日から 永 年間 (一時転用の場合:平成 年 月 日から 月間)					
(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	平成 年 月 日 ~ 平成〇〇年〇月 末日 (許 可 日)				
		名称	棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²	備考
	土地造成					開発区域内併用地面積を含む。
	建築物		1棟	150	150	//
	小計					
	工作物					開発区域内併用地面積を含む。
	小計					
計			150	150		

4 権利を設定・移転しようとする契約の内容

権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	設定 移転	許可の日	永年	

5 資金調達についての計画

収入		支出	
自己資金	5,000,000	用地費	0
借入金	25,000,000	造成費	3,000,000
補助金		建築費	27,000,000
()		()	
()		()	
計	30,000,000	計	30,000,000

6 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害の防除施設の概要

土砂の流出等の災害を防止するための措置：
L型擁壁を設置するので、特になし

農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置：
L型擁壁を設置し、汚水は下水道に排水するので、特になし

周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照等)に支障を及ぼさないための措置：
北・西側は、実家に隣接しているため、特になし

7 その他参考となるべき事項

(記載要領)

1 「当事者の氏名、住所及び職業」

- (1) 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を自署する場合においては、押印を省略することができます。
- (2) 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- (3) 代理人が申請の手続きを代理して行う場合は、余白に「代理人」として、「行政書士の氏名、行政書士の印(本人が自署する場合は省略することができます)、職業(行政書士)、事務所の所在地」を記載してください。
- (4) 譲渡人が2人以上である場合等には別紙として作成し、様式第8-2号-1と様式第8-2号-2の間に綴り込んでください。

2 「許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名」

- (1) 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作、一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、牧草地又はその他の別、採草放牧地にあっては、主な草名又は家畜の種類を記載してください。
- (2) 「10a当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあっては、採草量又は家畜の頭数を記載してください。
- (3) 「市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域・都市計画区域外の別」欄には、申請地が都市計画法による市街化区域(用途区域名を含む。)、市街化調整区域、非線引き内用途区域(用途区域名を含む。)、非線引き内用途区域外又は都市計画区域外のいずれかを記載してください。
- (4) 「譲渡人の氏名」欄は譲渡人の順に名寄せして記載してください。

3 「権利を設定・移転しようとする契約の内容」

権利の種類が複数ある場合は、複数段に記載してください。

4 「転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害の防除施設の概要」

災害(土砂の流出又は崩壊、ガス、粉じん又は鉱煙の発生、湧水、捨石等)を防止するための措置、農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置等周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照、通風、農道、ため池等)に支障を及ぼさないための措置を記述してください。

5 「その他参考となるべき事項」

- (1) 以前、転用許可を受けたが工事未完了案件がある場合には、転用許可日、工事の進捗状況、未完了の理由及び完了させる見込みを記述してください。
- (2) 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号口からホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

事業計画書

① 事業の必要性: (申請に係る事業を実施することの必要性を具体的に記入してください)
 次男が同居していたが、結婚したため、分家住宅が必要のため

② 土地の選定理由: (事業を実施する上で、申請地(農地)を選定せざるを得なかった理由を具体的に記入してください)
 外の自己農地も検討したが、形状等が不整形で、接道もなく宅地としての利用には適当でなかったため、自宅に隣接しており、利便性が高いと判断し選定した。

③ 転用行為の妨げとなる権利(法第3条1項本文に掲げる権利)を有する者の有無及びその者の同意状況:
 有る・ない(○で囲む)
 ↳ 氏名: _____
 権利の内容: _____
 同意状況: _____

④ 申請地に係る農地が土地改良区の地区内にある場合はその調整状況:

 特定土地改良事業等の内容:
 有る・ない(○で囲む)
 ↳ (特定土地改良事業等の内容)

事業の種類	事業施行者	施行面積	申請地に関する面積	施行時期	土地改良財産
黒宮圃場整備事業	福島県	〇〇 ha	350 m ²	昭和〇~〇年	

⑤ 土地の現況、土地利用計画及び計画面積の積算根拠:
 (土地の現況) (土地利用計画)
 地目ごとに記載すること 土地利用項目別に記載すること

地目	面積(m ²)	土地利用項目	所要面積(m ²)	計画概要
田	350	分家住宅	150	
畑		駐車スペース	50	
宅地		進入路等	75	
山林		雪捨て場	75	
道路				
水路				
()				
()				
計	350	計	350	

(土地利用項目積算根拠)
 農業用施設 縦10m×横15m=150m²
 農作業スペース 縦10m×横5m=50m²
 通路・回転スペース 縦5m×横10m=50m²
 雪捨て場 縦5m×横10m=50m²

